

事務事業名	商工業事業資金利子補給支援事業		所属部局	農林商工部	単位番号	6162									
			所属課室	観光商工課	課長名	塚原浩二									
			所属担当	商工担当	担当者名	今沢静子									
基本政策	基本計画	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計	名称	款	項	目	細目	細々目					
	計画	08 商工業の振興		01	一般	0	7	0	1	0	2	0	2	0	0
政策	体系	14 商業の振興	事業区分	☐ 国の制度による義務的事業 ☐ 施設等維持管理事業 ☐ 県の制度による義務的事業 ☒ 補助金交付事業 ☐ 市の制度による義務的事業 ☐ その他の事業 ☐ 義務化されている協議会等の負担金											
施策			法令根拠	南アルプス市商工業事業資金利子補給規程											
事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 15 年度)														
事業の内容・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 市内商工業者が経営安定と事業発展のため事業資金の融資を受けた場合、利子の補給を予算の範囲内において交付する。 ・H20年度利子補給申請件数 28件 1,869,492円 ・H21年度 21件 1,665,585円	事業費の主な内訳 (22年度)														
	項目(細節)		金額(千円)		項目(細節)		金額(千円)								
	補助金		2,089												
									計 2,089						

1 現状把握 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標

① 活動	
22年度活動実績	利子補給申請件数 35件 2,088,855円
23年度活動予定	利子補給申請に対し審査を行う。
② 対象 (この事務事業は誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	
・市内の商工業者	
③ 意図 (この事務事業により対象をどのような状態にしていのか、どのように変えるのか)	
・市内の商工業者の経営安定	
④ 上位目的 (どのような結果に結び付けるのか)	
・商工業者の経営安定により市内の商工業の活性化	

⑤ 活動指標 (事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 商工業者	数
イ	
ウ	
⑥ 対象指標 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 商工業者	数
イ	
ウ	
⑦ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 経営安定が図られた商工業者	数
イ	
ウ	
⑧ 上位成果指標 (結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	
名称	単位
ア 活性化が図られた商工業者	数
イ	

(2) 事業費・指標の推移		単位	21年度 (決算・実績)	22年度 (決算・実績)	23年度 (予算・目標)	24年度 (次年度計画・目標)	25年度 (計画・目標)	26年度 (計画・目標)	最終 (トータルコスト・目標)	年度
年間 トータル コスト	事業費	国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円	1,666	2,088	2,400	2,395	2,395	2,395	
		事業費計 (A)	千円	1,666	2,088	2,400	2,395	2,395	2,395	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2	
		延べ業務時間	時間	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	
		人件費計 (B)	千円	4,461	4,461	3,962	3,962	3,962	3,962	0
		(A)+(B)	千円	6,127	6,549	6,362	6,357	6,357	6,357	0
活動指標	アイウ	数	21.0	35.0						
	アイウ	数	21.0	35.0						
対象指標	アイウ	数	21.0	35.0						
	アイウ	数	21.0	35.0						
成果指標	アイウ	数	21.0	35.0						
	アイウ	数	21.0	35.0						
上位成果指標	アイ	数	21.0	35.0						
	アイ	数	21.0	35.0						

(3) この事務事業を取り巻く状況 (対象者・社会状況等) の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年南アルプス市商工業事業資金利子補給規程による。
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	近年の経済事情による要因と後継者不足による内部的要因などにより、商工業者の廃業や休業が目立つ。
③ 事務事業に対して関係者 (市民、事業対象者、議会等) からどんな意見・要望が寄せられているか?	市民からは、事業運営資金として期待されている。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	☒ 取り組みしている ⇒ [内容↓] ☐ 取り組みしていない ⇒ [理由↓]
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過 (取り組みしていない場合はその理由)	申請内容については、疑問を生じる内容があるなど、その都度商工会に周知指導を促してきた。が、なかなか改善されない。書面での明確なルールを商工会に対して指導してきた。
③ H 22年度に実施した改革改善の内容	利子補給規程の基準を商工会が申請者に説明できていないと思われる申請が多いことから、商工会に対しては、基準を明確に指導させていただいた。

事務事業名	商工業事業資金利子補給支援事業	所属部	農林商工部	所属課	観光商工課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価 (Check1) 担当者による事後評価 (複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	☐ 結びついていない (見直し余地がある) ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 結びついている ⇒ [理由↓] 市内の商工業者の振興
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？民間やNPOに委ねることは可能か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 妥当である ⇒ [理由↓] この事業については、商工業者が融資を受ける場合について、経営安定と事業発展のために利子を補給するものであるため
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 適切である ⇒ [理由↓] 市内の商工業者の経営安定と事業発展のためであるため
有効性 評価	④ 成果の向上余地 事務事業のやり方・進め方を変えることで成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	☐ 向上余地がある ⇒ [理由↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 向上余地がない ⇒ [理由↓] 商工会の指導を受けていることが要件であり、商工会が窓口になっている融資が対象となっているため
	⑤ 類似事業との統廃合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	☐ 類似事務事業がある ⇒ (類似する事務事業の名称を記入↓) ☐ 統合・連携ができる ⇒ [理由と具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 統合・連携ができない ⇒ [理由↓] ☒ 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	☐ 影響なし ☒ 影響あり ⇒ [理由と影響の内容↓] ☐ 休止・廃止ができる ☒ 休止・廃止できない ⇒ [理由↓] 商工会が窓口になっているため、優遇制度の休止・廃止については、理解が必要である。商工会の会員の減少を招く恐れあり。
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費 (コスト) を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☒ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☐ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 融資の対象を制限する。案として店舗の改装工事代や高額な重機の購入資金などに対する融資を対象とし、営業車両は、屋号の印字を義務付けるなど。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？ (事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	☐ 削減余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 削減余地がない ⇒ [理由↓] 商工会が窓口になっており、内容についての基準が商工会と相違している申請があるので審査内容に時間を要するため削減できない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	☐ 見直し余地がある ⇒ [理由・具体案↓] ⇒ 3評価 (Check2)・4今後の方向性に反映 ☒ 公平・公正である ⇒ [理由↓] 市内の商工業者が融資を受けた場合に利子を補給する事業であるため公平公正である。

3 評価 (Check2) 担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括 (事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ② 有効性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ③ 効率性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり ④ 公平性 ☒ 適切 ☐ 見直し余地あり	長期的な経済不振は商工業者への資金手当ての一つとして、融資額の利子補給は重要である。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性 (Check1の結果から定める) …複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
☐ 廃止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 事業統合・連携 (有効性⑤の結果) ☐ 公平性改善 (公平性⑨の結果) ☐ 休止 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ 成果向上 (有効性④の結果) ☒ 現状維持 (全評価項目で適切) ☐ 必要性検討 (目的妥当性①、②、③の結果) ☐ コスト削減 (効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td>☐</td> <td>☐</td> <td>☐</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td>☐</td> <td>☒</td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td>☐</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	☐	☐	☐	維持	☐	☒		低下	☐		
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	☐	☐	☐																		
	維持	☐	☒																			
	低下	☐																				
(2) 改革改善案について																						
① ② ③																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果																					
① ② ③	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑨</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	④	コスト削減優先度評価結果	⑨																	
成果優先度評価結果	④																					
コスト削減優先度評価結果	⑨																					